

さて、みなさんは、「自立」するために、3つの力をどこまで高めることができたでしょうか。また、「成功するための3つのキーワード」を大切にして、辛くても粘り強く取り組むことができたでしょうか…？

## 自立する力

- ・自分で考える力  
できない自分を認め
- ・仲間とかかわりあう力  
より良い自分創りを目指す
- ・粘り強くやり切る力

向上伸

過去最高冊数(R1)

1419冊

1597冊

実際に、粘り強く取り組んだ成果は、数字となって表れています！  
令和元年、コロナ禍だった時の向上伸ノートの取組冊数は、全校で1419冊であり、この数字は、昨年度まで破ることはできませんでした。

しかし、今年の向上伸ノートの取組冊数は1597冊で、過去の記録を大きく更新することができました!! (2Aでは、苅谷くんが、「あと3冊やったのか」と悔しそうにつぶやいていました…。)

過去の自分に負けなければ  
人はどこまでも成長できる

**ライバルは自分自身**

校長先生がいつも言われる言葉です。ぜひ、来年度も、過去の自分に負けず、自分自身をどんどんと成長させていきましょう!!

## その後は、生徒会長の東山さんの話がありました。



今学年最終日となりました。一年生の皆さんは先輩となり、二年生の皆さんは  
いよいよ最高学年です。皆さんはどんな気持ちで明日からの春休みを迎えますか？

ちょうど一年前、私は大きな目標を持って春休みを迎えました。

それは、生徒会に入り、川島中一人一人が輝く姿をもっと増やしたい!という目標です。その為に、まずはクラスをまとめる力をつけるために前期、学級委員になりました。しかし、とても全校をまとめていく立場になどなれない力のなさに、自分の日常を見つめ直すことからのスタートでした。苦手だった呼びかけを克服することでクラスのみんながそれに応えてくれ、先を見通し行動することでクラスを引っ張っていき力がつきました。その力を生かし、今度は団リーダーになる決意をしました。しかし、事前取り組みの段階で、私のクラスが団の足を引っ張ってしまいました。そこで、話し合いの場をつくってもらい、全員でもう一度これからどうしていきたいかを話し合いました。時間行動を意識すること、正しい服装の徹底を全員で再確認することができ、一人一人が団のためクラスみんなのために変わることができました。クラス全員が大きく成長でき、仲間のために自分のもっている最大限の力を出す事ができました。学年優勝をこのクラス全員で勝ち取る事ができ、これまでにない感動をもらいました。一緒にこれまで歩いてきて勝ち取ったのは学年優勝だけではなく、クラスの成長が1番あったと実感しています。

二年生の後期には、「プチ文化祭」を公約に掲げ生徒会に入り、公約達成にむけて、日々、生徒会メンバーで様々な取組を重ねました。新しい事を始める難しさや、他の行事と並行しながら、様々な事を同時に考えて進めていく事の大変さに直面し、幾度か壁にぶつかり、1人では決してやり遂げることのできない自分の力のなさに落ち込んだりもしました。

しかし、企画から当日の運営まで、「プチ文化祭」を全てやり遂げることが出来たのも、本気で向き合ってくれた先生方、どんな時も一緒になって、同じ目標に向かって真剣に考えて、作り上げてくれた生徒会メンバーがいたからです。そして、川島中生徒一人一人の努力と協力があってこそ、開催する事ができました。

たくさんの発表者の「輝(かがやき)」の姿はもちろん、仲間の発表を見て、一緒に盛りあげてくれる生徒の心の「輝」もたくさんもらい、私自身、こんな感動と達成感を得られたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。

私は今、最高学年という立場になることに、緊張した気持ちでいます。それは、未来について真剣に考え、自立をするための1年であり、1、2年生のお手本となって、目標としてもらえるようになる1年でもあるからです。

まだまだ卒業された先輩の姿には足りてないですが、素晴らしい先輩に今度私たちがなれるよう、大切な仲間と共に中学最後の一年を全力で駆け抜けたと思います。

最後に、皆さん、今年度、たくさんの「輝」の姿をありがとうございました。

4月には新一年生が入ってきます。先輩として「輝いて」見てもらえるよう、有意義な春休みにしましょう。



東山さんの学級では、仲間たちが、真剣に東山さんの話を聞いていました。その話の一つ一つが、学級全員で取り組んできたことでした。後ろ姿から、学級の軌跡を振り返り、自分たちの高まりを実感している様子が伝わってきました。

生徒指導の尾関先生からは、「新学期につながるように、心とからだの準備ができる春休みにしよう」という話がありました

| <p><b>R6年度 修了式</b></p> <p>『<b>新年度につながる<br/>春休みを送る</b>』</p> <p><small>生徒指導より</small></p>                    | <p>いよいよ明日から<b>春休み</b><br/>4月6日までが新年度の<br/>準備期間(11日間)<br/><b>心とからだの準備</b></p>                                | <p>＜スマホの使い方＞</p> <p>◆ <b>ルール・マナーを守る</b></p> <p>① 社会でダメなことは ネットでもダメ</p> <p>② 個人情報のをせない</p> <p>③ 悪口を書き込まない</p>  |    |      |    |                |                  |                                       |          |   |
|--|---|---|----|------|----|----------------|------------------|---------------------------------------|----------|---|
| <p>＜悩みは抱え込まない＞</p> <p>◆ <b>悩みは身近な人に相談</b></p> <p>☞ <b>SNSで知り合った<br/>見知らぬ人に会わない</b></p> <p>※1回も会ったことない人</p> | <p>◎<b>身近な人</b><br/>=家族, 友達, 先生 など</p> <p>◆ <b>こんな人は身近ではない</b></p> <p>SNSやオンラインゲームで知り<br/>合った顔も見たことがない人</p> | <p>【校外生活の指導基準】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行為</th> <th>補導基準</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>外出</td> <td>午後10時以降は外出しない。</td> </tr> <tr> <td>ゲームセンター<br/>カラオケ店</td> <td>保護者の責任で行う。<br/>午後5時以後は保護者同伴。<br/>保護者同伴。</td> </tr> <tr> <td>迷惑をかける遊び</td> <td>住宅密集地での花火, エアガンでの遊びなど, 他人に迷惑をかける遊びはしない。</td> </tr> </tbody> </table> | 行為 | 補導基準 | 外出 | 午後10時以降は外出しない。 | ゲームセンター<br>カラオケ店 | 保護者の責任で行う。<br>午後5時以後は保護者同伴。<br>保護者同伴。 | 迷惑をかける遊び | 住宅密集地での花火, エアガンでの遊びなど, 他人に迷惑をかける遊びはしない。 |
| 行為   | 補導基準  |   |    |      |    |                |                  |                                       |          |   |
| 外出   | 午後10時以降は外出しない。  |   |    |      |    |                |                  |                                       |          |   |
| ゲームセンター<br>カラオケ店   | 保護者の責任で行う。<br>午後5時以後は保護者同伴。<br>保護者同伴。   |   |    |      |    |                |                  |                                       |          |   |
| 迷惑をかける遊び   | 住宅密集地での花火, エアガンでの遊びなど, 他人に迷惑をかける遊びはしない。   |   |    |      |    |                |                  |                                       |          |   |

特に、スマホや SNS の使い方については、失敗が取り返しのつかないことにつながる可能性があります。「デジタルタトゥー（インターネット上で公開された書き込みや個人情報等が一度拡散してしまうと、完全に消すことが不可能である）」の怖さをもう一度思い出し、「自分は特別、大丈夫」という考え方を捨て、また、「簡単に相手を信用しない」ように気を付け、よく考えて使っていきましょう。先日のお昼の放送で、林昊来さんが話してくれたように、皆さんが気軽に使っている LINE も、SNS の一つです。皆さんの携帯が、世界とつながっていることを自覚し、慎重に使用していきましょう。